

あきつ防災マップ【地震編】 秋津校区防災連絡会 2026年3月更新



【家庭のルールを考えよう!】

次の質問に答えて家庭のルールを決めておきましょう。

●非常時の準備はできていますか？

- ①耐震化 ②非常持ち出し袋 ③ライト ④貴重品 ⑤食料

●地震後、どこの一時的避難場所に避難しますか？ 避難ルートは安全ですか？

- ① _____ ② _____

●指定避難所以外、どこに避難しますか？

- ① _____ ② _____

熊本地震の反省から、校区で決めたルールです。
全員でルールを守り防災力を向上しましょう!

【校区の防災力を向上するための校区ルール】

(平常時)

- 防災訓練の合同実施や防災関連の行事への参加、情報共有などを可能な限り行い、日ごろから小・中学校との連携を積極的に図る。

(被災時)

- 緊急避難道路への、ゴミの廃棄や駐車等の禁止を徹底する。
- 緊急の場合は、所有者に連絡が取れない場合でもガレキや車などの障害物の移動を可能とする。

凡例

熊本市指定避難所

地域指定一時避難場所

緊急避難道路

校区境界線

A1 ~ G2 現地写真展

熊本市防災サイト



非常時で不安な時はこちらのサイトを確認ください

0 250 500 1,000 m



「あの時、秋津は 熊本地震現地写真展」

実施期間：令和8年4月1日～令和8年5月31日

秋津校区を歩いても、新しい家が立ち並び道路は美しく、10年前の熊本地震の惨状を思わせるものはほとんどありません。傾いた石垣や点在する更地がわずかな痕跡を残すだけです。

しかし2016年4月、熊本地震が発生した時、世界に向けて最初に伝えられたのは、家が傾き瓦が落ち、塀が道路に倒れ込む秋津地区の惨状でした。被災者にとって当時のことを思い出すのにはつらいものですが、熊本市で最大の被害を受けた秋津地区の当時の記憶と経験を、こどもたちに伝えるのは大人たちの責務です。

現地に写真を展示し、当時の苦労を改めて心に刻むことで、いつ起きるかも知れない地震や風水害へ備えたいと思います。

地震前に、住み慣れた故郷がこんな姿になることを想像した人はいませんでした。「熊本は地震は大丈夫」一だれもがそんな思いを持っていました。今となれば根拠のない思い込みです。

災害を経験した私たちは思います。「起きるかもしれない災害は、いつか起きる」と。

写真は秋津の各町内約50カ所に展示しました。裏面にはその1部を紹介。秋津まちづくりセンターや銀行、JAなどに案内パンフレットを置いています。

令和8年3月

秋津校区防災連絡会

協力：熊本市秋津まちづくりセンター

※一部地図上に掲載していない場所があります。